

清瀬市教育委員会 殿

清瀬市立清瀬中学校

校長 小澤 秋仁

令和7年度教育課程

このことについて、清瀬市立学校の管理運営に関する規則に基づき、特別支援学級（自閉症・情緒障害学級）の教育課程を下記のとおり届け出ます。

記

1 教育目標

（1）学校の教育目標及び育成を図る資質・能力

人間尊重を基本理念に、国際的視野にたち、平和を愛する社会人の形成をめざして、

◎ 正しい判断力と粘りづよい実践力をもった生徒を育てる

○ 健やかな身体と豊かな情操をもった生徒を育てる

○ 高い知性とたくましい創造力をもった生徒を育てる

生徒・教職員・家庭が「みんなで幸せになる」学校の構築を最重要課題とし、清瀬市総合教育計画を推進するため、教育目標の具現化を通して未来社会に通用する人としての資質・能力を育む。令和7年度は「交流を軸に、生徒の自己有用感を高め、自分の考えを伝える力を育成する。」をテーマに教育活動を展開し、その実現を目指す。生徒の特性に応じた配慮と援助を行い、指導方法を工夫して自立活動の充実を図り生徒の社会性を高める。

（2）特別支援学級の教育目標

健康な心身と考える力や社会性を伸ばし、困難にくじけず耐える力を育む。また、自分の行動を自分で決定する力を育てる。各教育活動のねらいに即して体験的な学習活動の充実を図り、キャリア観を育て、主体的に進路を選択することができる生徒を育てる。通常の学級や地域との交流に重点を置き、他者との意思疎通への苦手意識を克服できるよう、意見交流をスモールステップで行い、大きな集団への参加することを目標とする。

（3）学教育目標を達成するための基本方針

○ 生徒の障害特性を理解し状態を適切に把握するとともに、特性に応じた指導を行う。

障害の程度によりグループ編成を行い、個別の配慮を行いながら指導の工夫を行う。

○ 通常に交流学級を設定し、行事を中心とするが、日常的に交流をもつよう設定する。

○ 個別最適な学びと協働的な学びの充実に向け、タブレット端末を有効活用する。

○ キャリア教育を重視し、将来の職業生活に必要な基礎的な知識や技能を育てる。卒業後の生活に関係する内容を計画し、体験的な活動を通し、自ら進路選択できるようにする。

○ 個に応じた具体的な指導目標及び指導内容を設定する。感覚の過敏性等への配慮、視聴覚的な支援、固執への配慮等、指導上の工夫や環境の設定等に留意する。学期ごとの評価に基づき、指導の改善を行うとともに指導内容の充実を図る。

○ コミュニティスクールを軌道に乗せ、学校・保護者・地域が三位一体となり、学校教育に生かす。